

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 快適に利用できる公共トイレにするために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

公共トイレは、誰もが使うにも関わらず、インクルーシブ及びバリアフリーの視点での整備が、まだまだ進んでいません。どんな障がいがあっても利用しやすく、また世代や性的マイノリティー等の多様性にも配慮し、すべての人がアクセスしやすいことが必要です。

公共トイレをウェルネス環境と捉えたと、排尿、排便、月経のケアといったニーズに加え、清潔を保つこと、体調不良への対処など身体的なニーズがあります。加えて、超高齢社会において外出や人との交流は、健康に過ごすこと、生活の質を上げるために重要であり、そのうえで排泄は、切っても切り離せず、安心して利用できる公共トイレ環境を整備することは、健康づくりの視点でも重要になってきます。快適に安心して利用できる公共トイレの整備をすすめるために以下質問します。

1. 駅や公園など、市が外に設置しているトイレの設備について、例えば、車椅子利用者、乳幼児連れ、オストメイトなどに対応した整備の考え方についてお示してください。
2. 駅や公園など、市が外に設置しているトイレには、サニタリーボックスが設置されていません。その理由について伺います。
3. 公共トイレは、障がい者や高齢者、子ども連れの人、性的マイノリティーのほか、体調不良など身体的ニーズに配慮することも必要です。学校や公民館、地域センターなど、公共施設におけるトイレ改修や、新たにトイレ整備をする場合の考え方について伺います。
4. 健康づくりのためにウォーキングをする人が増えています。玉川上水やグリーンロード沿いにトイレマップを設置することについて、見解を伺います。
5. 世田谷区では、生理による女性への負担をジェンダーギャップと捉え、2026年4月から区の一部施設で生理用品の無償設置をしています。小平市で取り組むことについて、見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2026年5月19日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【 】

27	26	25	24